



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

改訂日 26-3-2024

改訂番号 1

1. 化学品及び会社情報

製品名	Viscosity Reference Standard Low Temperature Type JF1-L, UKAS ISO 17025 / ISO 17034, 500 mL / AP Dual-branded
化学品の名称 製品コード	AP-JF1-L
CAS No.	91770-15-9
処方	-
登録番号	情報なし

安全データシートの供給者の詳細

供給者

LGC GmbH
Louis-Pasteur-Straße 30
14943 Luckenwalde
GERMANY

Tel: +49(0) 3371 689
Fax: +49(0) 3371 689 5099
Email: info@lgc-germany.com

Web : www.lgcstandards.com

緊急連絡電話番号

For Hazardous Materials or Dangerous Goods Incident
Spill, Leak, Fire Exposure, or Accident
Call CHEMTREC:
USA & Canada 1-800-424-9300
Rest of the world +1 703-741-5970

電子メールアドレス sds-request@lgcgroup.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	検査室での使用
推奨されない用途	情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

日本政府による GHS 分類



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

AP-JF1-L - Viscosity Reference Standard Low
Temperature Type JF1-L, UKAS ISO 17025 / ISO 17034,
500 mL / AP Dual-branded

改訂日 26-3-2024

引火性液体	区分 3
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 粉じん／ミスト	区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響はない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3
区分 3 標的臓器影響： 麻酔作用。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	区分 1
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分 2
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

日本政府によるGHS分類

皮膚刺激

眠気又はめまいのおそれ

長期継続的影響によって水生生物に毒性

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

引火性液体及び蒸気

注意書き

安全対策

- 取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

AP-JF1-L - Viscosity Reference Standard Low
Temperature Type JF1-L, UKAS ISO 17025 / ISO 17034,
500 mL / AP Dual-branded

改訂日 26-3-2024

- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレートの吸入を避けること
- ・屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること
- ・環境への放出を避けること
- ・容器を接地しアースをとること
- ・火花を発生させない工具を使用すること
- ・静電気放電に対する措置を講ずること
- ・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙
- ・容器を密閉しておくこと
- ・保護手袋／保護衣及び眼／顔面保護具を着用すること
- ・涼しいところに置くこと

応急措置

- ・該当しない
- ・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること
- ・無理に吐かせないこと
- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと
- ・皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
- ・皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・気分が悪いときは医師に連絡すること
- ・火災の場合：消火するために乾燥した砂、粉末消火剤又は耐アルコール泡消火剤を使用すること
- ・火災の場合：消火するために乾燥した砂、粉末消火剤又は耐アルコール泡消火剤を使用すること
- ・漏出物を回収すること

保管

- ・施錠して保管すること
- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと

廃棄

- ・内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

他の危険有害性

皮膚に接触すると有害のおそれ。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学式	-
処方	-
CAS No.	91770-15-9



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

AP-JF1-L - Viscosity Reference Standard Low
Temperature Type JF1-L, UKAS ISO 17025 / ISO 17034,
500 mL / AP Dual-branded

改訂日 26-3-2024

化学品の名称	CAS No.	重量%	化審法インベ ントリ	化審法番号	安衛法インベ ントリ	安衛法番号
Kerosine sweetened (D94/69 p1259) 4	91770-15-9	90 - 100%	情報なし		情報なし	

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)
該当しない

労働安全衛生法
通知対象物質
該当しない

表示対象物質
該当しない

毒物及び劇物取締法
該当しない

4. 応急措置

一般的なアド バイス

治療を行う 医師にこのSDSを示すこと。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移すこと。肺に吸引されると重篤な肺障害を引き起こす可能性がある。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。呼吸が困難な場合には、(資格のある者が)酸素吸入を行うこと。直ちに医師に診察／手当てを受けること。遅発性の肺水腫が生じるおそれがある。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服及び靴を脱ぎ、直ちに石けん(鹼)と多量の水で洗うこと。刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。

眼に入った場合

直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。洗っている間は眼を大きく広げてそのままにすること。受傷部をこすらないこと。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。口をすすぐこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。吸引力呼吸器有害性 - 肺に侵入して障害を引き起こすおそれがある。自発的に嘔吐した場合には、誤って汚物が気管に入らないように頭を腰より下に下げる。直ちに医師に診察／手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 徴候症状

呼吸困難。咳及び／又は喘鳴。めまい。高濃度の蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、疲労、吐き気及び嘔吐のような症状を引き起こすおそれがある。

応急措置をする者の保護に必要な注意 すべての着火源を排除すること。医療者が物質の関与を認識していることを確認し、彼ら



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

AP-JF1-L - Viscosity Reference Standard Low
Temperature Type JF1-L, UKAS ISO 17025 / ISO 17034,
500 mL / AP Dual-branded

改訂日 26-3-2024

事項	自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。指定された個人用保護具を着用すること。詳細については項目8を参照。皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。
医師に対する特別な注意事項	吸引する危険があるので、他の毒性物質の存在によりリスクが正当化されない嘔吐をさせたり胃洗浄を行ったりしてはならない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火剤。二酸化炭素(CO ₂)。水噴霧。耐アルコール泡消火剤。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	発火のリスク。製品及び空容器を熱源及び着火源から遠ざけること。火災の場合には、水噴霧でタンクを冷却すること。燃焼残留物や汚染された消火水は現地の規制に従って廃棄しなければならない。
特有の消火方法 大規模火災	水噴霧でドラムを冷却すること。 警告：放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。
消火活動を行う者の特別な保護具及び 予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急 時措置	人員を安全な区域に退避させること。指定された個人用保護具を着用すること。詳細については項目8を参照。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。人員を漏出／漏えい(洩)の風上に遠ざけること。全ての着火源を排除すること(近接区域は喫煙とし、裸火、火花又は火炎を排除すること)。フラッシュバックに注意すること。静電気に対する予防措置を講ずること。製品を取り扱うときは使用する全ての器材を接地すること。漏出物に触れたりその上を歩いたりしないこと。
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。製品が排水路に入らないようにすること。
封じ込め方法	リスクを伴わずに可能ならば漏えい(洩)を止めること。漏出物に触れたりその上を歩いたりしないこと。蒸気抑制泡を使用して蒸気を減らすことができる。流去水を回収するために液体流出物のかなり前方に堤防を築くこと。排水路、下水溝、排水溝、水路に入らないようにすること。後で廃棄するために土、砂又はその他の不燃性材料に吸収させて容器に



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

AP-JF1-L - Viscosity Reference Standard Low
Temperature Type JF1-L, UKAS ISO 17025 / ISO 17034,
500 mL / AP Dual-branded

改訂日 26-3-2024

	移すこと。
浄化方法	静電気に対する予防措置を講ずること。せき止めること。不活性吸収材料で吸収すること。回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。
その他の情報	その区域を換気すること。項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

個人用保護具を使用すること。蒸気又はミストを吸い込まないようにすること。熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。静電気の放電、火災又は爆発を防止するために、この物質を移動するときは接地及びアース接続を使用すること。局所排気換気装置を併用すること。火花を発生させない工具及び防爆型の機器を使用すること。スプリンクラーが装備された区域に保管すること。包装容器のラベルに記載の指示に従って使用すること。産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

衛生対策

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。休憩前及び作業後に手を洗うこと。適切な手袋及び眼／顔面保護具を着用する。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

特定の保管方法や輸送時の温度条件については、製造者証明書を参照すること。保証書内に他の指示がない限りは、もとの容器で保管すること。容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。熱、火花、炎及び他の着火源(例えば、点火バーナー、電気モーター及び静電気)から遠ざけること。適切な表示のある容器に保管すること。可燃性物質の近くには保管しないこと。スプリンクラーが装備された区域に保管すること。個別の国内規制に従って保管すること。現地の規則に従って保管すること。施設して保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。隔離して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

シャワー
洗眼場



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

AP-JF1-L - Viscosity Reference Standard Low
Temperature Type JF1-L, UKAS ISO 17025 / ISO 17034,
500 mL / AP Dual-branded

改訂日 26-3-2024

換気システム。

許容濃度

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的モニタリング指標

供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性物質を一切含んでいない

環境ばく露防止

いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。

保護具

呼吸用保護具

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気及び排気が必要になる。

手の保護具

使用される保護手袋はEC指令89/686/EECの仕様および関連する標準EN374に準拠している必要がある。ニトリルゴム製の保護手袋を着用すること。適切な手袋を着用する。不浸透性手袋。

眼、顔面の保護具

眼に入らないようにする。サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。密封性の高い安全ゴーグル。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。耐薬品性エプロン。帯電防止長靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観
物理状態
色
臭い
臭いのしきい値

液体
液体
無色透明
石油蒸留物
情報なし

特性

値

備考・方法

融点／凝固点
沸点又は初留点及び沸騰範囲
可燃性(固体、気体)
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界
爆発又は可燃の上限界
爆発又は可燃の下限界
引火点

情報なし
情報なし
情報なし

> 38 °C / 100.4 °F

情報なし



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

AP-JF1-L - Viscosity Reference Standard Low
Temperature Type JF1-L, UKAS ISO 17025 / ISO 17034,
500 mL / AP Dual-branded

改訂日 26-3-2024

蒸発速度	情報なし
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
粘度	
動粘性率	情報なし
動的粘度	情報なし
水への溶解度	情報なし
溶解度	情報なし
n - オクタノール／水分配係数(log値)	情報なし
蒸気圧	情報なし
相対ガス密度	情報なし
相対密度	情報なし
粒子特性	
粒径	該当しない
粒径分布	該当しない

その他の情報

爆発性	情報なし
酸化特性	情報なし
分子量	-

10: 安定性及び反応性

反応性	情報なし。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	通常のプロセスではない。
避けるべき条件	熱、炎及び火花。
混触危険物質	強酸。強塩基。強酸化剤。
危険有害な分解生成物	提供された情報に基づき知見なし。
爆発データ	
静電放電に対する感度	該当する。
機械的衝撃に対する感度	なし。

11. 有害性情報

急性毒性



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

AP-JF1-L - Viscosity Reference Standard Low
Temperature Type JF1-L, UKAS ISO 17025 / ISO 17034,
500 mL / AP Dual-branded

改訂日 26-3-2024

毒性の数値尺度 - 製品情報

化学品の名称	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
Kerosine sweetened (D94/69 p1259) 4	> 5000 mg/kg (Rat)	> 2000 mg/kg (Rabbit)	> 5.2 mg/L (Rat) 4 h

略語及び頭文字

Rat: ラット

Rabbit: ウサギ

症状

呼吸困難。咳及び／又は喘鳴。めまい。発赤。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。高濃度の蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、疲労、吐き気及び嘔吐のような症状を引き起こすおそれがある。

製品情報

経口

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。飲み込んだ場合に誤嚥の可能性。飲み込むと肺損傷を引き起こすおそれがある。吸入すると肺水腫及び肺臓炎を引き起こすおそれがある。飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。

吸入

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。肺に吸引されると重篤な肺障害を引き起こす可能性がある。肺水腫を引き起こすおそれがある。肺水腫は生命に危険である可能性がある。眠気又はめまいのおそれ。

皮膚接触

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。皮膚刺激。(成分に基づく)。

眼接触

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。刺激のおそれ。

皮膚腐食性／刺激性

成分に対して利用可能なデータに基づく分類。皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

分類できない。

生殖細胞変異原性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

発がん性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

AP-JF1-L - Viscosity Reference Standard Low
Temperature Type JF1-L, UKAS ISO 17025 / ISO 17034,
500 mL / AP Dual-branded

改訂日 26-3-2024

生殖毒性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	眠気又はめまいのおそれ。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
誤えん有害性	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

12. 環境影響情報

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

化学品の名称	藻類／水生植物	魚類	甲殻類
Kerosine sweetened (D94/69 p1259) 4	-	LC50: =1740mg/L (96h, Lepomis macrochirus) LC50: =45mg/L (96h, Pimephales promelas)	LC50: =4720mg/L (48h, Daphnia magna)

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性 情報なし。

他の有害影響 情報なし。

化学品の名称	EU-REACH(1907/2006)-第59条(1)-高懸念物質の認可対象候補物質リスト	EU-REACH(1907/2006)-内分泌かく乱作用評価対象物質リスト	内分泌かく乱の可能性
Kerosine sweetened (D94/69 p1259) 4	-	-	-

13. 廃棄上の注意



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

AP-JF1-L - Viscosity Reference Standard Low
Temperature Type JF1-L, UKAS ISO 17025 / ISO 17034,
500 mL / AP Dual-branded

改訂日 26-3-2024

残余廃棄物	環境中に放出してはならない。現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。
汚染容器及び包装	空の容器は火災及び爆発危険有害性を有する。容器を切断、穴開け又は溶接しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG

国連番号又はID番号	UN1863
品名(国連輸送名)	Fuel, aviation, turbine engine
説明	UN1863, Fuel, aviation, turbine engine, 3, III, (38°C c.c.), 海洋汚染物質
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	3
容器等級	III
海洋汚染物質	P
EmS-No.	F-E, S-E
特別条項	223

ADR

国連番号又はID番号	UN1863
品名(国連輸送名)	Fuel, aviation, turbine engine
説明	UN1863, Fuel, aviation, turbine engine, 3, III, (D/E), Environmentally Hazardous
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	3
容器等級	III
海洋汚染物質	該当する
ERGコード	3L
特別条項	664

IATA

国連番号又はID番号	UN1863
品名(国連輸送名)	Fuel, aviation, turbine engine
説明	UN1863, Fuel, aviation, turbine engine, 3, III
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	3
容器等級	III
特別条項	A3
ERGコード	3L

日本

国連番号又はID番号	UN1863
品名(国連輸送名)	Fuel, aviation, turbine engine
説明	UN1863, Fuel, aviation, turbine engine, 3, III
国連分類(輸送における危険有害性)	3



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

AP-JF1-L - Viscosity Reference Standard Low
Temperature Type JF1-L, UKAS ISO 17025 / ISO 17034,
500 mL / AP Dual-branded

改訂日 26-3-2024

クラス)	
容器等級	III
環境有害性	該当する
特別条項	223, 363

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

危険物

労働安全衛生法施行令別表第1(第6条、第9条の3関係)

引火性物質

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

船舶安全法

詳細については項目14を参照

航空法

詳細については項目14を参照

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

港則法

詳細については項目14を参照

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

TSCA

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

DSL/NDL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

EINECS/ELINCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

化審法インベントリー

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

AP-JF1-L - Viscosity Reference Standard Low
Temperature Type JF1-L, UKAS ISO 17025 / ISO 17034,
500 mL / AP Dual-branded

改訂日 26-3-2024

IECSC	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
KECL	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
PICCS	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
AIIC	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

凡例:

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
DSL/NDL - カナダ国内物質リスト / 非国内物質リスト
EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー / 欧州新規届出商業用化学物質リスト
ENCS - 化審法既存物質
IECSC - 中国現有化学物質名録
KECL - 韓国既存化学物質目録
PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー
AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

16. その他の情報

改訂日 26-3-2024
改訂記録 SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 8: ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA(時間加重平均)	天井値	最大限界値
Sk*	皮膚兆候	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)
米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関(EFSA)
EPA(環境保護庁)
急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース(IUCLID)
日本政府によるGHS分類
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

AP-JF1-L - Viscosity Reference Standard Low
Temperature Type JF1-L, UKAS ISO 17025 / ISO 17034,
500 mL / AP Dual-branded

改訂日 26-3-2024

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

免責事項

このsafety data sheet (SDS)の情報は当然の注意を払い準備されたもので、私共の知識の限りにおいて真実であり正確なものです。ユーザーは、その特別な目的に合う情報の適合性を判断し、法律や規制を確実に遵守し、また、この他のもしくは追加の安全性や性能に関する考慮事項が、物質の使用時、取扱い時、保管時に起こりうることに注意しなければなりません。本SDSの情報は包括的ではなく供給される物質の性質について保証するものでもありませんので、ガイドとしてのみご利用ください。LGCは、ここに含まれる情報の正確性や網羅性に関しまして一切の保証も表明もいたしません、また、意図される用途やそのような使用の影響に対する本情報の適切性に関して責任はなく、どのように生じようと、直接であろうとそうでなかろうと、いかなる損害や損失に対しても一切の責任を負わないものといたします。。

安全データシートのおわり